

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年5月14日		使用開始日	
登録診療科	血液内科		申請医師	上田 周二
レジメン名	R-DeVIC			
疾患名	非ホジキンリンパ腫		適応の備考	CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫
適応分類				
1コース日数	21	日間	総コース数	4
			コース	催吐性リスク
day1:最小度、day2-4:中等度				
抗がん剤投与量・投与日 リツキシマブ375mg/m ² day1、カルボプラチン300mg/m ² day2、エトボシド100mg/m ² ・イホマイド1500mg/m ² day2-4、デキサメタゾン40mg/body day2-4				
治療スケジュール・投与日程（投与日は●）				

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食500mL	0.675	本 / m ²	●																				
	点滴静注	リツキシマブ注	375	mg / m ²	下記	●																			
10倍に希釈する。																									
2	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5分	●																			
	点滴静注																								
3	側管①	生食250mL	1	本 / body		●																			
	点滴静注	プロイメント注150mg	1	本 / body	30分	●																			
4	側管①	グラニセトロン注ハック1mg/50mL	1	本 / body		●	●	●																	
	点滴静注	デキサート注6.6mg	5	本 / body	30分	●	●	●																	
5	側管①	生食500mL	1	本 / body		●	●	●																	
	点滴静注	エトボシド注	100	mg / m ²	60分	●	●	●																	
100mg当たり、250mLの生食または5%ブドウ糖液に混和する。																									
6	側管①	生食500mL	1	本 / body		●																			
	点滴静注	カルボプラチン注	300	mg / m ²	2時間	●																			
7	側管①	生食500mL	1	本 / body		●	●	●																	
	点滴静注	イホマイド注	1500	mg / m ²	2時間	●	●	●																	
8	側管①	生食50mL	1	本 / body		●	●	●																	
	点滴静注																								
9	側管②	生食50mL	1	本 / body		●	●	●																	
	点滴静注	ウロミデキサン注400mg	300	mg / m ²	5分	●	●	●																	
イホマイド開始時に同時に投与する。																									
10	側管②	生食50mL	1	本 / body		●	●	●																	
	点滴静注	ウロミデキサン注400mg	300	mg / m ²	5分	●	●	●																	
イホマイド投与4時間後に投与する。																									
11	側管②	生食50mL	1	本 / body		●	●	●																	
	点滴静注	ウロミデキサン注400mg	300	mg / m ²	5分	●	●	●																	
イホマイド投与8時間後に投与する。																									
12	経口投与	ボラミン錠2mg	1-3	錠 / body		●																			
		ジクロフェナクNa錠25mg	1	錠 / body		●																			
リツキシマブ投与の30分前																									

【投与上の注意】

- ・プロイメントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・プロイメントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・プロイメントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- ・ウロミデキサン:イホマイド1日量の20%相当量を1回量としてイホマイド投与時、4時間後、8時間後に静脈内注射するが、翌1日量としてイホマイド1日量の最大100%相当量まで投与できる。
- ・エトボシド: DEHPフリー点滴セット使用。
- ・デキサート:デキサート33mgは、デキサメタゾン40mgに相当する。
- ・リツキシマブ:前投薬としてボラミン(2)1~3錠、ジクロフェナクNa(25)1錠を内服する。
- ・リツキシマブ:初回はECGモニターをつける。
- ・リツキシマブ:投与速度は初回は25mL/h×1h、100mL/h×1h、残りは200mL/hとする。
- ・リツキシマブ:2回目以降はinfusion reaction が初回にしなければ100mL/h×1h、残りは200mL/hとする。
- ・day2-5主ルートから、輸液を24時間持続点滴を投与し、十分な補液を行う。